

ひきこもり支援関連の予定事業（令和3年度当初予算）

重層的支援体制整備事業
の活用↓

事業名	項目	事業内容	実施機関	令和3年度予算額 (増額分) 単位：千円	特定財源（増額分） 単位：千円	種別	備考
多機関協働事業	①（仮称）ひきこもり支援機関連絡協議会の開催	支援機関の連携強化、情報やノウハウの共有化等を目的とした会議体を開催する。令和3年度は協議会設立のための準備会を開催予定。	ぶらっとホーム世田谷	300	225	拡充	
	②精神保健福祉士の配置	ひきこもり実態把握調査で精神障害等の当事者が多かったことを踏まえて、ぶらっとホーム世田谷とメルクマールせたがやとの連携体制の整備を目的として専門職を配置する。	ぶらっとホーム世田谷	4,860	3,645	新規	
	③家計改善支援員の拡充	ひきこもり世帯への親亡き後の将来の家計収支を長期的に見える化すること等により、ひきこもり支援につなげることを目的にファイナンシャルプランナーの資格を有する職員を拡充する。	ぶらっとホーム世田谷	6,444	4,833	新規	
アウトリーチを通じた継続的支援事業	④メルクマールせたがや出張相談会の拡充	希望丘青少年交流センターで毎月1回行ってきた出張相談会を、令和2年6月より5総合支所で隔月に拡充し、相談員を1名ずつ派遣してきたが、令和3年度より、相談員を全支所2名体制とし、専門人材の育成と支所4課等との連携強化に努める。また、最もニーズの高い烏山総合支所での出張相談会を隔月から毎月拡充する。	メルクマールせたがや	1,795	8,250	拡充	メルクマール 全体経費 歳出58,096 (対前年+1,624)
	⑤メルクマールせたがや	訪問相談・家族会・出張セミナー等、アウトリーチにかかる事業の既存部分	メルクマールせたがや	12,419		既存	歳入20,605 (対前年+15,402)
参加支援事業	⑥みつけばルームの機能拡充	全国ひきこもり親の会の調査によれば、ひきこもりの約1/4は発達障害の特性を有するとされており、区の実態把握調査でも同様の傾向となっている。こうした方々の社会参加を支援するため、発達障害特性がある若者のピアサポート事業「みつけばルーム」について、概ね25歳までとしている年齢制限を撤廃するとともに、主に30～50代の年齢層に向けたピアサポートによるプログラムを実施する。	みつけばルーム	6,928	5,196	拡充	※当初見込んでいた特財2,119千円（地域生活支援促進事業国1,413千円、都706千円）は他の事業に活用
合計				32,746	22,149		